

## お知らせ

順天堂大学医学附属浦安病院では、以下の後方視的研究を実施しております。この研究は通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんお一人お一人から直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。

この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、下記の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 当院における MALT リンパ腫の後方視的研究—免疫グロブリン軽鎖抗体+IgG 重鎖 subclass の抗体の免疫組織染色法の臨床的有用性の検討—

【研究機関】 順天堂大学医学部附属浦安病院血液内科

【研究責任者】 野口雅章（血液内科 教授）

【研究の目的】

MALT リンパ腫（悪性リンパの一部）は、その診断と治療が大変難しい疾患の病気です。

診断面では、腫瘍か非腫瘍か難しい場合があります。治療は、胃ではピロリ菌陰性例、除菌無効例では、難しい場合があります。そこで生検標本の形質細胞の IgG subclass が診断と治療効果判定に有用か検討したいと考えました。保存検体を免疫組織染色という病理の方法で調べます。さらに診療録（カルテ）の情報を収集し、臨床的有用性について検討を行うことといたしました。本研究の結果は皆様の今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）2010年1月1日から倫理委員会承認日までの間に当院で、MALT リンパ腫（悪性リンパ腫の一部）と診断された患者さん 100 名を予定しています。

（利用するカルテ情報）発病時年齢、病型、期間、治療効果判定、末梢血検査、凝固検査、生化学検査、骨髄検査、リンパ節・腫瘍生検、フローサイトメトリーと免疫組織化学、染色体・遺伝子検査。

（利用する検体）既に患者さんから得られているリンパ節、骨髄、組織の保存検体です。

研究期間は承認日から 2020 年 12 月 31 日までです。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

この研究の対象となられる方で「ご自身の診療録（カルテ）および余剰検体の利用を希望されない方は、下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

**【問い合わせ先】**

順天堂大学医学部附属浦安病院 血液内科 野口 雅章  
279-0021 千葉県浦安市富岡 2-1-1  
Tel: 047-353-3111